

1日1日を大切に！

立春



早いもので、3学期がスタートして1ヶ月が過ぎました。昔から「1月は行く」「2月は逃げる」「3月は去る」といわれるよう、ついこの間まで「あけましておめでとうございます」と言っていたと思ったら「あっ」という間に2月です。1月は正月を含め新しい

1年が始まり何かと忙しく、2月は普段の月より短く、3月は年度末で一年間のまとめや来年度にむけての準備で忙しくなるので、時間がとても早く過ぎるようになります。やることがたくさんあるのに、時間が足りない。もっと時間が欲しいのに、日がどんどん過ぎていく…。特に受験を控え、卒業間近な3年生の皆さんには、まさにその気持ちになっているのではないかでしょうか。「1日1日を大切に！」悔いのない学校生活を過ごしましょう。

さて、暦の上では、まもなく「立春」です。「立春」とは、二十四節気（にじゅうしき）において、春の始まりであり、1年の始まりとされる日です。二十四節気は、紀元前の中国で生まれ、太陽の動きに基づいた暦です。1年を4つの季節に分け、さらにそれぞれの季節を6つに分割しています。四季の最初が、立春・立夏・立秋・立冬で、この4つは「四立（しりゅう）」と呼ばれています。四立の前日が季節の移り変わる時の意味で、「節分」といい、本来は1年に4回ありますが、その中で、1年の終わりであり、大みそかともいえる立春の前日が、今も豆まきなど節分の行事を行う大事な日として残っています。今年の豆まきが行われる「節分」は、例年2月3日ですが、暦のずれの影響で1日早まり、124年

ぶりに「立春」が2月3日で、「節分」が2月2日となります。節分に豆まきをするのは、昔は季節の分かれ目には邪気が入りやすいと考えており、さまざまな邪気払い行事の一つとして行われてきました。鬼は邪気や厄の象徴とされ、形の見えない災害、病、飢饉など、人間の想像力を越えた恐ろしい出来事は鬼の仕業と考えられ、鬼を追い払う豆は「魔滅」（悪魔のような鬼の目、つまり「魔目（まめ）」めがけて豆を投げれば「魔滅」につながる）、豆を煎ることで「魔の目を射る」ことに通じる

ため、煎った大豆を使ったともいわれています。他にも、鰯の頭とヒイラギを玄関に飾る地方もあり、鰯の頭を焼くと、そのにおいを嫌って鬼が近寄ってこないとか、ヒイラギの葉はとがっていて触ると痛いので鬼が逃げていくという言い伝えもあるようです。昔からにおいの強いもの、トゲのあるものは魔除けや厄除けがあるとされているそうです。最近では、節分に恵方巻きを食べる風習も広く知られていますが、その年の恵方を向いて太巻きを丸かじりすると願いが叶い、無病息災や商売繁盛をもたらすとされています。これは一説には、幕末から明治時代にかけて大阪で始まり、関西地方で親しまれ、現在は全国的に広がっています。節分という行事には、邪気を払い、みんなが「健康で過ごせるように」という人々の願いが込められています。

まさしく、現在、新型コロナウィルス感染拡大がおさまらず、緊急事態宣言がこの京都府にも発令されている中、感染予防対策の徹底をみなさんが継続しておこない、早く感染が収束するとともに、世界中で猛威を振るっている鬼（＝新型コロナウィルス）を追い払うための豆（＝ワクチン）が、一日でも早く世界中の人々に届き、安心した日常生活を取り戻すことができることを願っています。

3年生の多くのみなさんは、これから私立高校入試や公立高校前期選抜があり、コロナウィルスやインフルエンザ感染予防を徹底しながら、受験勉強や自分の進路にしっかりと向き合い、自分の将来を見据え、それぞれ目標を立てて、そこに向かって努力していると思います。先日の面接練習においても、「志望理由」「将来の目標」「頑張りたいこと」などを、自分自身の言葉ではっきりと答え、しっかりと取り組んでいました。応援していますので、自分のベストを尽くして頑張って下さい。また、1・2年生は、進級する次の学年への心構えをつくる大切な時期となります。これまでの自分、今日からの自分、そして、4月からの自分、それぞれの自分の姿をイメージしてほしいと思います。過去・現在・未来の自分を意識できるようになると、人は成長すると思います。1年間をしっかりと振り返り、今の自分を見つめ、来年度に向けての心の準備をしましょう。



1月のおもなできごと



【3学期始業式&表彰…1月5日（火）】

3学期始業式も新型コロナウィルス感染拡大防止のため、全校テレビ放送でおこないました。始業式の前には、2学期以降の各部活動や各教科等の伝達表彰をおこないました。1年生から3年生まで多くの生徒のみなさんが活躍してくれました。その後、始業式をおこない、続いて、生徒会執行部による生徒集会をおこないました。



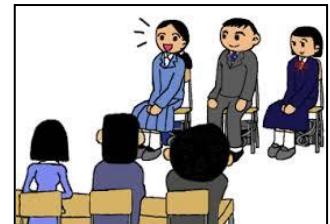
【第2回避難訓練…1月14日（木）】

第2回目の避難訓練を実施しました。再度、避難訓練の意義、災害時や避難時の心構え、避難経路の確認を各学級でおこなった後、災害時の対応などのビデオを視聴し、また、地震が発生したとの放送により、教室にて各自が頭や身を守るために机の下にもぐる第一次避難をしました。その後、調理室より出火したという放送が入り、廊下に代議員を先頭に整列しました。今回も、密を避けるため、グラウンドに全校生徒が避難することはしないで、廊下に整列するまでの訓練をおこないました。どのクラスも静かに落ち着いて行動ができていました。万が一、地震や火災が発生した時に、どのような行動をとったら良いのかを考え、一人一人が判断し行動できるようしましょう。



【3年生「面接練習」…1月22日（金）・25日（月）】

1月22日（金）・25（月）の午後の時間を中心には、受験対策の一環として、3年生の『面接練習』を行いました。集団面接を中心に、本番のように緊張感の中、志望理由や中学校で頑張ったこと、将来の夢など、さまざまな角度からの質問に対して、それぞれが考えてきたことを一生懸命に自分の言葉で答えていました。模擬面接が終わると、面接担当の先生から、入退室の作法、服装や身だしなみ、言葉遣いなどのアドバイスを受けていました。当日は、自信を持って頑張ってきてほしいと思います。



【2月のおもな学校行事】



- ・2月10日（水）～11日（木）…京阪神「私立高校入試」
- ・2月16日（火）～17日（水）…公立高校「前期選抜入試」
- ・2月17日（水）～23日（火）…1・2年生、9組テスト前週間（部活動停止）
- ・2月24日（水）～26日（金）…1・2年生、9組「第4回定期テスト」
- ・2月25日（木）…3年生5、6限「思春期学習」
- ・2月26日（金）…午後：小中交流会（修学院小…ZOOMにて）



【2月5日は「京都はぐくみ憲章の日」】

平成16年、子どもの命が粗末に扱われたり、子ども自身が自尊感情を持てず、命を軽視してしまう事件が続き、そこで、人づくり21世紀委員会などの子どもたちに関わる京都の市民ネットワークが中心となり、改めて子どもを健やかに育むため、市民の心意気を行動で示すことが緊急の課題であるとして議論を重ね、平成18年6月に「人づくり21世紀委員会からの提言」が京都市に提出されました。これを受け、京都市では、議論を重ね、市民の皆さまからの意見募集や意見交換会、シンポジウムを行ったうえで、平成19年2月5日に「子どもを共に育む京都市民憲章（愛称：京都はぐくみ憲章）」を制定しました。「地域の子どもは地域で育てる」という思いのもと、「京都はぐくみ憲章」は、子どもたちの笑顔のために6つの行動理念を掲げています。このすばらしい伝統を京都の誇りとして継承していくために、私たち大人は子どもの模範となり、子どもと関わる中で自らも成長していくことが大切です。

京都はぐくみ憲章

～子どもを共に育む京都市民憲章～



わたくしたちは、

- ・子どもの存在を尊重し、かけがえのない命を守ります。
- ・子どもから信頼され、模範となる行動に努めます。
- ・子どもを育む喜びを感じ、親も育ち学べる取組を進めます。
- ・子どもが元らぎ育つ、家庭の生活習慣と家族の絆を大切にします。
- ・子どもを見守り、人と人が支え合う地域のつながりを広げます。
- ・子どもを育む自然の恵みを大切にし、社会の環境づくりを優先します。

平成19年2月5日 実行委員会の日 次回
2月12日 世銀会合が開催される日